

2024年9月定例会 松谷清議員 議案質疑

9月17日

松谷 清

議案第128号 蒲原小中一貫校整備事業建設事業

<大村議長>

説明員から提案理由の説明を求めます。

<大長副市長>

定例会に提出した議案についてご説明します。

議案集①2ページの議案説明をご覧ください。議案第128号は、令和6年度静岡市一般会計補正予算第3号で安全安心の確保として、新型コロナワクチンの定期予防接種に要する経費の増額などを計上するものです。

補正予算の総額は10億4千万円で、補正額を加えた、累計予算額は3601億8千万円以上となります。

なお、継続費の補正は、(仮称)蒲原小中学校建設費の変更です。

また、負債の補正は中学校建設業債の変更です。説明は、以上でございます。

<大村議長>

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので発言を許します。

<松谷清議員>

それでは、通告に従いまして、議案質疑をさせていただきます。第128号議案のもう一つの蒲原小中一貫校建設事業の電気事業建築事業の労務単価等の高騰により、入札不調、入札不落による事業費の見直しに伴う、継続費の総額の増額及び年割率の見直しにより、年度予算の減額、総事業費32億から36億が提案されております。

しかも、2026年4月開講スケジュールを崩さずに行きたいということから、本日の議決、そして9月議会の最終日の契約議案上程というハードなものとなっております。そこで、二点お伺いいたします。

蒲原小中学校一貫校の建築工事の入札不落の原因とその後の対応は、どうなっているか。

二つ目に、電気工事についても不調により再公告となっていたが、どのような状況が伺って、一回目の質問を終わります。

<教育局長>

蒲原小中一貫校建設に関する二つのご質問にお答えします。

最初に、蒲原小中一貫校建築工事の入札不落の原因とその対応についてですが、建築工事においては、8月1日の改札で予定価格を下回る入札がなく、その後、最低価格入札者と協議を行いましたが、契約に至りませんでした。予定価格と入札価格を分析した結果、材料単価及び労務単価の高騰により、予定価格と実勢価格に大幅な乖離があったことがわかりました。そこで、その不足額を9月補正予算で上乘せし、令和8年4月の開校に間に合うよう再発注を予定しています。

なお、本工事は令和6年度と7年度の2カ年で実施するもので、当初、は施工割合を6年度分として20%に設定してみましたが、実施設計完了後に見直しを行い、6%となりました。そのため、全体事業費を増額するとともに、継続費の年割率を変更し、6年度予算の減額補正を行うものです。

次に、電気工事の発注状況についてですが、電気工事につきましては、8月5日に再公告し、9月5日に改札しましたが、建築工事と同様に予定価格を下回る入札がなく、最低価格入札者と協議を行いました、契約に至りませんでした。

そこで、予定価格と入札価格を分析した結果、労務単価の高騰により、予定価格と実勢価格に乖離があったことが主な要因であることが分かりました。今後、実勢価格との乖離を踏まえて、再積算を行い、建築工事と同じく、令和8年4月の開校に間に合うに再発注を予定しています。

以上でございます。

<大村議長>

はい、松谷議員。

<松谷清議員>

次に、蒲原小中校建設資材についてお伺いいたします。答弁をいただいたんですけども、建築工事は、8月1日、JV2社が参加するも入札不落、随意契約にも至らず、積算価格と実勢価格の大幅な乖離で、再発注の予定とのこととあります。電気工場は、JV要件が理由で入札不調、JV要件を外して、9月5日入札するも不落随意契約にも至らず、再発注の予定とのこととあります。

予定価格を超えた入札の場合、通常、不落随意契約の協議を行います、9月9日、協議の意向基準を10%と明確にしました。積算価格と実勢価格の大幅な乖離、参加企業への聞き取りを行ない、対策を練ったにもかかわらず、入札不落が続いているわけとあります。この事態をどう捉えたらいいのかという問題であります。

市民文化会館において、入札不調には諸要因ありましたが、28億円の増額となりました。市長の記者会見では市の側の積算能力の不足とも評されております。年度内の発注施工開始という対策というも検討されているわけとあります。

市民文化会館とは、事業の中身は違いますが、国交省の単価基準に基づいても、入札が決まらない事態が続いているわけとあります。台風15の復旧で施工者の手持ち事業が増加して、2023年の段階では、19.2%が入札不調・入札不落が続いております。市職員の積算能力の不足で説明できない事態、能登半島地震や万博、東京大活動の関係など、要と供給の関係、円安・インフレによる物価高騰と政府の財政政策の失敗に起因するのか、様々考えられる訳とありますが、いずれにしても、地方都市における公共事業の構造的問題に直面しているのではないかと思います。

ただこれらのテーマは、議案質疑以外になりますので、言及はいたしません。そこで、この蒲原小中一貫校整備事業建設事業における今後の発注予定、その他の工事への対応はどうするのか伺いたいと思います。

<教育局長>

今後、発注予定のその他工事への対応についてですが、今後、給排水、衛生、空調、昇降機の設備工事の発注を予定しておりますが、これら工事については、積算金額に用いる材料単価や労務単価の市域における取引状況等を確認し、今回の内容を勘案した上で積算し発注を行ってまいります。

以上でございます。

<大村議員>

はい、松谷議員。

<松谷清議員>

それでは三回目の質問をします。二点お伺いいたします。

蒲原小中学校の問題は、質問は先ほど3点で終わりますが、今日行える委員会の審査で論点深めていただけることを期待して、質問は終わります。

<大村議長>

以上で質疑を終了いたします。ただいま議題となっております議案第128号は配布した議案付託表の通り所管の常任委員会に付託いたします。